

蘆花恒春園と烏山寺町

東京建築士会世田谷支部では、世田谷の都市・住宅地が形成されてきた歴史を旧版地形図等資料を参照しながら辿る「まちあるき」を行っています。

今回は、蘆花恒春園と烏山寺町の地域を歩きます。

徳富蘆花がこの地へ越してきたのは明治40年。昭和2年に死去後、夫人によって昭和11年東京市に寄付。昭和13年に蘆花恒春園として開園した。

これとほぼ同時期に江戸から近代都市へ変容する為、郊外へのインフラ移転が模索され、明治21年東京市区改正条例の制定、大正2年京王電鉄笹塚-調布間開通、大正8年都市計画法の制定。そして大正12年関東大震災。

大正12年に本郷で設立された久保政吉商店（現ウテナ化粧品）は昭和2年に現在の南烏山に工場と邸宅を建設。（同地は現在、同本社+区立世田谷文学館+ケアマンションの敷地となっている）

震災直前に開園された多磨霊園、大正14年東京市墓地改葬規則により、郊外への墓地移転が一層促進され、烏山寺町は、大正13年から昭和24年にかけて形成された。土地区画整理は、規模は小さいながら、昭和13年から19年にかけて行われ、その後、昭和30年代から団地が建設されはじめた。

まだ点在している耕作地や緑地に千歳烏山周辺の戸建住宅地、芦花公園周辺の大規模宅地、そして寺町と多様性の感じられる地域です。

芦花公園駅に集合し、蘆花恒春園から千歳烏山の町を楽しみながら、烏山寺町へ到る徒歩約6kmです。是非ご参加下さい。宜しくお願い致します。

開催日時： 2019年 11月23日（土・祝） 12:00~17:30

（雨天決行としますが、荒天が予測される場合は、メールにて連絡します）

集合場所： 京王電鉄芦花公園駅改札口

参加費： 500円（AIU旅行傷害保険50円を含む）に加えて、バス代440円（千歳烏山⇄寺院通）が必要です。

尚、芦花恒春園→千歳烏山バス利用の方はバス代210円です。

連絡先： 中村彰 naa-a@nifty.com（携帯 09032319345）

- 参加希望者は11月16日までに
お名前、当日使用される携帯電話
番号を添え、中村宛メールにてお
申し込み下さい。定員20名、定
員オーバーの場合はご連絡申し上
げます。
- 尚、支部会員の増強を考えており
ます。ご友人に建築士の方がいら
っしゃいましたら、是非お誘い下
さい。

